

| | | |
|----|--|--------------------|
| 科目 | 「問3. 授業を受けた上で、自ら関連項目について文献やインターネットなどで調査し、新たな思考を展開した。さらにその思考に基づき行動した。」及び「問15. あなたはこの授業に毎回出席しましたか」から、学生の受講態度についてどのようにお考えですか。選択肢からお選びください。また、改善案があればお書きください。 | 学生の 受講態度 |
| Sp | <p>本学で20年、前任校を併せて26年間、毎年、授業の実践と反省・改善を繰り返してきたが、受講生の各自の態度は、大学に入学するまでの小1～高3までの学校生活の中で培われてきたものだ、つくづく思う。2014年度後期、sp1の1060119と1060128の2つの授業を、同じ教育目標、内容、方法によって計画して実践したが(もちろん、一端、授業が開始されれば、相手の反応・関心や理解度合いに応じて目標・内容・方法を適宜修正せざるをえないわけだが)、学生の受講態度は明らかに個別で、(授業による・学習者得たの)成果も全く異なるものだったことから、このことは、改めて実証されたように感じている(このテーマについては、授業改善アンケートやそこで分析しようされている事象・課題として、当然、視野に入れられていることと想像しているが、少なくとも、本評価書でとられている方法、記述欄においては表現できず(回答の選択肢にない)、把握はされないのではないかなと思う)。</p> <p>もちろん授業者として、いわゆる「授業改善」は常に行っているが、それ以上に、いわゆる(一般的な意味での)「受講生」ではなく、愛知教育大学の現実の学生・学習者としてとらえ、その態度やその変化(発達)そのものを研究したり、それによって明らかにされた学習者像のもとで、授業改善研究を行う必要を感じる。ただしこのような研究は、授業者自身が自分の授業のために行うものであると、個人的には思っている。またもし、大学や教員集団の単位で行う場合であっても、一方向からたとえば反省を促したり、ある理想的な改善の姿に向かわせる方法や、授業者集団の平均点の向上や「底上げ」を図るような意図ではなく、各自の教員が現に行っている改善を実践・ケースとして大切に扱い取り上げる研究方法の方が、成果は上がるのではないかと考え、自分自身の考える授業改善に向かって取り組んでいる最中である(改善案)。</p> | 個人によつて(大きく)異なっていた。 |
| Sp | (無記入) | 非常に良い |
| Sp | (無記入) | 非常に良い |
| Sp | 全回出席と、ほとんど出席で約80%でした。2年生でしたが、真面目に取り組んでました。 | 良い |
| Sp | 一年生は特に出席状況、授業参加態度を重く評価にも入れているが、一部の学生に時間数不足にならなければよいと考えている者がいたのが残念 | 良い |
| | | |

| 科目 | 「問10. この授業の教育目標を達成できたと思いますか」にかかわって、この授業のために設定された教育目標が、どの程度達成できましたか。選択肢からお選びください。また、改善案があればお書きください。 | 目標の達成度 |
|----|--|-----------|
| Sp | 今年の実践で得た多くの情報(授業実践に対する受講生の理解や関心といった手応えなど)、を来年度の授業の内容(方法含む)に活かすことだ思う。 | 達成できた |
| Sp | (無記入) | 達成できた |
| Sp | 天候による授業内容の制約への対策を十分に練らねばならない。 教員間で問題を報告し合う機会を増やし、意思疎通を十分に図らねばならない。 | 達成しきれなかった |
| Sp | (無記入) | 達成しきれなかった |
| Sp | 強く達成できた、ほぼ達成できたが74%でした。毎時間の課題をよくこなし、上達も早かったので達成感は多く感じたと思います。 | 達成できた |
| Sp | 十分達成できた→(国文, 日本語) 達成できた→(家庭, 情報) | |
| | | |

| | |
|----|---|
| 科目 | 「問11. 授業の難易度」、「問12. 一回当たりで扱われる授業内容の量」、及び「問13. この授業のための週当たりの学習時間」に対する学生による評価をみて、どのように考えられますか。また、改善案があればお書きください。 |
| Sp | <p>妥当かと思う。</p> <p>補足:この授業(sp1)は、実技を中心とし、最後の2回は演習形式(①発表会(演武)、②その鑑賞(自己と他人の演武を具体的に評価する)および③文献による読解(順番に声を出して読む、武道の考えを知る)で行うため、授業時間そのものが学習時間の全てだと思って計画している。この授業(sp1)に限って言えば、予習復習を促し、そこで自覚的な学習を設定しても教育効果に違いはあまりないと考えられる。この授業において、武道に関するさまざまなテーマがあることを知り、関連する媒体に触れるチャンスをつかむ力はつけて頂いたと思うので、今後、長い生涯の中で、折に触れて、教養として形成していただければよいと思っている。ただし2年次のsp2においては、授業時間以外の学習・課題を課すことを行ってきた。</p> |
| Sp | <p>受講学生らは概ね自分が考えていたものと同様の授業内容の量であったと思います。実技授業のため、毎回の授業でそれを確認できました。</p> |
| Sp | <p>事前学習、事後学習のために、興味関心を広げ、掘り下げられるような課題を多く用意する必要あり。</p> |
| Sp | <p>その競技の経験者、初心者ともにレベルに合った課題に向けよく取り組んでいた。授業の難易度、内容量ともにちょうどよいが82~91%で適量であった。</p> |
| Sp | <p>問11, 問12ともに80~90%がちょうどよいと答えており、予定通り進めることができよかった。問13の学習時間はスポーツ・実技科目でもあり65~85%が費やしてないと答えているが、課題・レポートは提出させている。今後はもっと深く研究, 調査させるようにしたい。</p> |
| | |

| | |
|----|---|
| 科目 | どのような基準で学業成績の結果を出されましたか。提出された成績評価も踏まえてご記入ください。 |
| Sp | <p>基本的には、シラバスに示した授業評価方法。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎回の授業での取り組み(学習活動から分かる工夫や発言(学習者同士、授業者との間における)) 2. 同 授業の成果発表(今日学んだ形を、理解したことを踏まえて演武する) 3. 同 授業レポート(今日学んだことを、短くレポートに書く・提出) 4. ①発表会(演武)、と、②その鑑賞(自己と他人の演武を具体的に評価してレポートに書く)の内容 5. 出席については、大学の規程に従って10回以上出席したものを最終試験受講可、すなわち、上記の1～4による評価を受ける対象として扱った。 |
| Sp | ゲーム数や戦績、自己評価、学習意欲・態度、出席状況などを総合的に評価 |
| Sp | 活動量、技能およびレポート。 |
| Sp | 意欲、関心、態度、積極性、リーダーシップ、スキルテスト出席状況、など総合的に判断しました。 |
| Sp | 意欲、態度、スキルテスト、理解度、課題、指導力、試合結果、などを総合的に判断しました。出欠状況のウェイトは多くしています。 |
| | |

| | |
|----|--|
| 科目 | 授業改善について、独自に工夫されていることについてお書きください。 |
| Sp | 常に総合的に勉強する(スポーツ科目について、そこで取り扱うのに価値のある内容について、その内容そのもの(今回は武道・形稽古・その文化)について、授業の方法について、学習者について、評価のあり方について。自分自身の技能を高める)。勉強していることと、授業実践結果とを、次年度の授業に反映させる。 |
| Sp | 目配りや気配りを特に意識的に行うようにしている。 |
| Sp | 学生のをきき、授業に反映させるようにしている。 |
| Sp | 2年生は人前に立って指導する機会を順番に作り、準備, 企画, 運営, 指導の状況も重視しました。 |
| Sp | その競技の経験者も、初心者も個々の到達目標を設定し常に意欲, 関心, を持って授業を進めるようにしています。 |
| | |